

コロンビア大学様導入事例

～イメージワークフローシステムで入学審査を短縮効率化～

入学願書と学資援助に関する書類管理と志願者選定の効率化を実現

お客様の紹介: 米国で最も権威のある大学のひとつであるコロンビア大学は、4,000人の教職員と150カ国からの23,000人の学生を抱えています。コロンビア卒業生と現職および前職の教授、合計73名がノーベル賞を受賞しています。キングオブカレッジと呼ばれるコロンビア大学は、ニューヨーク州では最も古く、米国全体でも5番目に古い高等教育機関です。

業務要件と課題

- 4年生大学の入学志願数が過去5年間に18,000から22,000と20%以上増加した。
- 予算および職員の数が増える傾向にあった。
- 入学願書書類は、郵便、Eメール、ファックス、ウェブサイトといった様々な形式で、不規則に送付される。
- 入学願書や付随書類は10ページ以上に及ぶ為、文書の分類、ABC順による並べ替え、コピー、電子化、インデックス、エラーチェック、整理、配信といった作業に多大な労力を要した。
- 膨大な量の入学願書書類の保管スペースを必要とした。
- 入学が認められた学生に対し、短期間で学資援助の判断をする必要があった。
- 学資援助を次年度に向けて継続するために、今年度の書類も閲覧する必要があった。

導入効果

- 2002年9月にOnBase導入を決め、2ヶ月後には、入学事務局及び学資援助事務局の担当者は研修を受けソリューションを使用開始。
- 手動によるデータ入力作業が40%削減。
- 職員を増員せずに、短時間で以前より4,000以上の入学願書を処理。
- 入学願書類が不備なく迅速に審査官に提供されるので、時間をかけて志願者選考を行え、選定の質を改善でき、最適な志願者を選考。
- 異なる場所にいる複数の審査官が同時に同じ志願書類を閲覧でき活発に協議でき、より良い意思決定を促進。
- AY(Apply Yourself)とSIS(Student Information System)との統合で、余分な作業をなくし、自動的にエラー検索をし、情報へのアクセスを改善。

概要: コロンビア大学は、ハイランドソフトウェア社のエンタープライズコンテンツ管理ソフトウェアであるOnBaseを導入し、毎年増大する入学願書類のイメージ管理およびワークフローソリューション活用した審査選考プロセスの自動化を実現しました。また、OnBaseシステムを既存のシステムとシームレスに連携させることにより、入学審査官や学資援助担当者は、必要な情報に迅速にアクセスでき、効率よく最適な意思決定を行うことが可能となりました。

